



プレコンセプションケア推進事業

神奈川県健康医療局

令和6年度当初予算額：3,763万円

1 目的

- 正しい知識の普及を通じ、自分のライフプラン(人生の設計図)を自ら考える機会を創出するため、若い世代のプレコンセプションケア(将来の妊娠のための健康管理)。以下「プレコン」)を推進する

2 現状と課題

- 本県は、出産年齢が高い(【R3】県：32.8歳、全国平均：32.2歳)
- 出産年齢の高齢化は、様々なリスクにつながるが、このリスクは十分に周知されていないため、若年層(10～20代)が適切な時期に正しい知識が得て、自分のライフプランを考えられる環境が必要。

3 対応

○ 若年層が、自身のライフプランを主体的に考え、健康管理を実践することを促すため、

- ・ 県ホームページ「丘の上のお医者さん」の機能強化
- ・ 専門家によるオンライン相談の導入
- ・ 学校・企業と連携したプレコンの普及啓発の強化を実施する。



プレコンセプションケア推進事業 概要③

実施事業		概要	予算額
①	丘の上のお医者さん」の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県が運営する<u>性や妊娠に関する正しい知識の普及を図るためのウェブサイト「丘の上のお医者さん」</u>を改修。 	5 5 6 万円
②	オンライン相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>若年層(10～20代)の男女</u>を対象とするオンラインのプレコン相談を導入。 ○ <u>プレコンに関する総合的な相談に医師及び助産師</u>が対応。 	2, 0 0 2 万円
③	普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県立高校への<u>副教材の配付</u>。 ○ 県内企業や高等学校への<u>出前講座</u>の実施。 ○ その他、バナー広告等による<u>普及啓発</u>を実施。 	1, 2 0 4 万円
計			3, 7 6 3 万円

【オンライン相談支援について(実施内容・スケジュール)】

1 実施内容

- 産婦人科医師・助産師によるビデオ通話
 - 助産師によるLINE相談
 - 産婦人科医師・助産師によるメール相談
 - 相談者への事後フォロー（ハイリスク者へのフォロー、年代別情報発信等）
- ※ 必要に応じて 市町村等の関係機関と連携し、継続的な支援に繋げる。
- ※ 市町村等の支援者からの相談も可能

2 令和6年度スケジュール

